

一 告 告



寺家 尚哉 (じけ なおや)  
金沢工業大学大学院工学研究科  
電気電子工学専攻  
博士前期課程一年  
富山県立富山工業高等学校出身

## モータの魅力を伝えたい。 人に感動を与えるエンジニアへ。

ものづくりはブームといえるかもしれない。電子機器や新幹線が好きな中学生には、工業高校から大学工学部へはスタンダードでもある。寺家さんは、いくつかの大学を比較検討して、学生主体のものづくりをやっている金沢工大に注目した。第一志望のKITであり、推薦入学であった。

「課外活動の夢考房エコランプ

プロジェクトに入って、納得しました。自分が主体となって率先してやれたことが一番大きいですね。エンジンの車体と、電気モータの車体があり、ぼくはモータに魅了されて。それは既製品だったんですが、自分で作ってみたいなど、設計・製作・試験・評価の全部をやらせてもらいました。」

指導教授の深見正先生の専門は

電気機器。金沢工大の学部時代に電験一種を取得されたことは、いわば伝説化されているといえようか。それだけレベルの高い先生に教えてもらえたら、自分ももっと高いところに行けるんじゃないかという、寺家さんの研究室の選択も、正統であった。

「学部四年で電験三種に合格、

今年に電験二種を受験しましたが、

二次試験は来年。そして電験一種

は就職してからと思っています。

ともかく基礎を徹底的に鍛える研

究室です。学部生に電験三種を受

けるというのも、基礎が大事だか

らなんです。研究室では、大学の

資格取得講習会とは別に「電験

勉強会」を開いています。」

寺家さんの研究テーマは「EV

／HEV駆動用可変磁気モータの

研究」である。今年八月、電気学

会の産業応用部門大会のヤングエ

ンジニアポスターコンペティショ

ン(YPC)で発表した。三菱電

機との共同研究であったが、惜しくも入賞は逃した。その悔しさを、来年三月の電気学会全国大会につけようと準備中である。

「この大学は、ヤル気がある人

に対してのフォローやバックアッ

プがたくさんあるのがいい。夢考

房でいえば、ものづくりに必要な

ものはほとんど揃っています。3

Dプリンターやワイヤー放電カッ

ト加工機などを、自由に使えるん

です。で、自動車であれ産業用で

あれ、どんなモータにも対応でき

る技術者になりたい。」

寺家さんは、まだ明確になっ

ていないが、就職について日本の代

表的なメーカーを数社あげてくれ

た。工学と美学の結晶したモータ

を通して、人に感動を与えること

ができるかと確信するからである。

彼自身がそうであったように。

### 金沢工業大学

石川県野々口市市属が丘七十一  
電話番号(076)248-1100

KIT  
キャンパス  
レポート

文・出島二郎  
マーケティングプランナー